




別表2

(2021-1回)

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ジョナスのかさ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 ジョシュ・クルート 訳 千葉茂樹 絵 アイリーン・ライアン・イーウェン</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>光村教育図書</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2020年11月</td></tr> </table>	1		書名	ジョナスのかさ	著者等	著 ジョシュ・クルート 訳 千葉茂樹 絵 アイリーン・ライアン・イーウェン	出版社	光村教育図書	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2020年11月	<p>昔から、ロンドンには雨の多いまちだ。ときにしとしと、ときにぽつぽつ、ときにばらばら、ばしゃばしゃ、ざあざあ。雨が降ったら、傘をさすのは当たり前。けれども、ロンドンの人たちは1750年頃まで、傘をさすなんて、ばかばかしくて、みっともなく、恥ずかしいものとされていたのだ。だがある日、雨に濡れるのが大嫌いなジョナス・ハンウェイが傘をさした。バカにされても傘を持ち歩き、さし続けた。そして30年後のこと…。イギリス社会に、傘が広まった由来を、風刺のきいた絵と文でユーモラスに伝えている絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
1																
書名	ジョナスのかさ															
著者等	著 ジョシュ・クルート 訳 千葉茂樹 絵 アイリーン・ライアン・イーウェン															
出版社	光村教育図書															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2020年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>このかみなえに？トイレトペーパーのはなし</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 谷内つねお</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>福音館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2020年11月</td></tr> </table>	2		書名	このかみなえに？トイレトペーパーのはなし	著者等	著 谷内つねお	出版社	福音館	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2020年11月	<p>子どもも大人も誰もが毎日つかう紙、トイレットペーパー。あまりにも身近すぎ、「紙」として注目する機会は少ないかもしれない。長さ、やわらかさ、水を吸う性質などトイレットペーパーの特性をいろいろな実験を通して紹介している。小学校の廊下や校庭をつかって、長さを調べたり、ペットボトルに入った色水を、どのくらい吸収するか実験するなど、子どもたちがまねしたり、やってみたいと思うような楽しいことばかり。巻末には、トイレットペーパーに関するQAが掲載されている。紙のおもしろさにも楽しく気付ける写真絵本。</p> <p>(分類番号 585)</p>
2																
書名	このかみなえに？トイレトペーパーのはなし															
著者等	著 谷内つねお															
出版社	福音館															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2020年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>シマフクロウとサケ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 宇梶静江 (古布絵制作、再話)</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>藤原書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,800</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2020年12月</td></tr> </table>	3		書名	シマフクロウとサケ	著者等	著 宇梶静江 (古布絵制作、再話)	出版社	藤原書店	定価	1,800	対象	幼児～小学校中学年	発行	2020年12月	<p>ある日、山から海辺にやってきた村の守り神シマフクロウは、サケの群れに出会った。先頭のサケは仲間のサケに向かって、尊いシマフクロウのカムイチカプが、おいでになるぞ。おそれつつしみなさいと告げるが、最後にやってきたサケたちは、あんな目玉の大きいものが神だなんてと、バカにしながら海の水をまきちらしていた。サケの無礼な態度に腹を立てたシマフクロウは…。幼少期をアイヌ集落で過ごした作者が、アイヌ伝統の刺繍を活かし、アイヌ神話の世界を伝えている。シマフクロウやサケが生き生きと描かれた「古布絵」が見事な絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
3																
書名	シマフクロウとサケ															
著者等	著 宇梶静江 (古布絵制作、再話)															
出版社	藤原書店															
定価	1,800															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2020年12月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>おねぼうさんはだあれ？</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 片山 令子 絵 あずみ虫</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>学研プラス</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年3月</td></tr> </table>	4		書名	おねぼうさんはだあれ？	著者等	著 片山 令子 絵 あずみ虫	出版社	学研プラス	定価	1,400	対象	幼児～小学校低学年	発行	2021年3月	<p>森に春がきた。うさぎのミミナちゃんは、花をつみながら、冬ごもりからなかなか起きてこない友だちを、おこしに出かけることに。はじめにくまのフワくんは、眠っていて起きない。ミミナちゃんは、シロツメクサの花束をおいて外に出た。それから、ヤマネのクルリくん、とかげのヌールちゃん、カエルのピョントくん次々に春の花をつんでは、起こしに行くのだが…。繰り返されることばが幼い子の気持ちに、あっている。春の訪れを明るく温かい筆致で描いた絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
4																
書名	おねぼうさんはだあれ？															
著者等	著 片山 令子 絵 あずみ虫															
出版社	学研プラス															
定価	1,400															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2021年3月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ふまんばかりのメシュカおばさん</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 キャロル・チャップマン 訳 こみやゆう 絵 アーノルド・ローベル</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>好学社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年4月</td></tr> </table>	5		書名	ふまんばかりのメシュカおばさん	著者等	著 キャロル・チャップマン 訳 こみやゆう 絵 アーノルド・ローベル	出版社	好学社	定価	1,600	対象	幼児～小学校低学年	発行	2021年4月	<p>小さな村に、メシュカというおばさんが住んでいた。メシュカおばさんは朝から晩まで、あることないこと不満ばかり言っていた。背中がいたくて石の壁を背負っているみたいだとか、足はでっかくなりすぎたかぼちゃみたいに重たいとか、息子のことを、きゅうりのピクルスみたいと言い、娘のことや、亡くなった旦那さんが建てた家までも不満の材料にしてしまう。ところがある朝、メシュカおばさんは、いつものように、ぶつくさ不満を並べていると…。文、絵のタッチなど、ともに地味だが、洒落た雰囲気で描かれた絵本。</p> <p>(分類番号 933)</p>
5																
書名	ふまんばかりのメシュカおばさん															
著者等	著 キャロル・チャップマン 訳 こみやゆう 絵 アーノルド・ローベル															
出版社	好学社															
定価	1,600															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2021年4月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>登り続ける、ということ。山に登る 学校を建てる 災害とたたかう</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 野口健</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>学研プラス</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～中学生</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年5月</td></tr> </table>	6		書名	登り続ける、ということ。山に登る 学校を建てる 災害とたたかう	著者等	著 野口健	出版社	学研プラス	定価	1,400	対象	小学校高学年～中学生	発行	2021年5月	<p>野口健は母がエジプト人で、幼い頃「ガイジン」といじめられた。高校でけんかをして停学になる。そのとき植村直巳の『青春を山に賭けて』を読み、登山家になる。外交官の父から「世の中には日なたと日かげがあり、日かげにこそ取り組むべきテーマがある」と教わる。シェルパの家族のこと、山のゴミを回収すること、ネパールの村の子どもたちに学校を作ること、災害支援などに取り組んできた。山に登ってエネルギーをもらい、地球環境のことなど自分にできることに挑戦しようとする。アルピニスト野口健の自伝ノンフィクション。</p> <p>(分類番号 786)</p>
6																
書名	登り続ける、ということ。山に登る 学校を建てる 災害とたたかう															
著者等	著 野口健															
出版社	学研プラス															
定価	1,400															
対象	小学校高学年～中学生															
発行	2021年5月															

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">7</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>春のウサギ</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 ケヴィン・ヘンクス 訳 原田勝 訳 大澤聡子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年4月</td> </tr> </table>	7		書名	春のウサギ	著者等	著 ケヴィン・ヘンクス 訳 原田勝 訳 大澤聡子	出版社	小学館	定価	1,400	対象	小学校高学年	発行	2021年4月	<p>2歳で母親を亡くしたアミーリアはゆううつそうな英文学者の父親と暮らしている。いつも彼女のことは見守ってくれているオブライエンさんが家事をやってくれていた。パリに行った親友を失う不安も抱えていた。春休み、近くの陶芸工房で粘土でウサギを作ることがアミーリアの喜びだった。そこで、親の離婚を止めさせようとしているケイシーという少年と出会う。ふたりは「だれかの物語を作る」遊びを始める。母がやってくると想像するうち、父と付き合いのある女性が現れる。自分の居場所を求めて揺れる少女の心をていねいに描いた物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
7																
書名	春のウサギ															
著者等	著 ケヴィン・ヘンクス 訳 原田勝 訳 大澤聡子															
出版社	小学館															
定価	1,400															
対象	小学校高学年															
発行	2021年4月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">8</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>わたし、パリにいったの</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 たかどのほうこ</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>のら書店</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年3月</td> </tr> </table>	8		書名	わたし、パリにいったの	著者等	著 たかどのほうこ	出版社	のら書店	定価	1,400	対象	小学校低学年	発行	2021年3月	<p>はなちゃんとめめちゃんは幼い姉妹。アルバムを見るのが大好きだ。姉のはなちゃんがおとうさんもおかあさんとパリに行ったときの写真を見ながら、あときはこうだったとはなちゃんがお話する。何度も聞いているうちに、そのときまだおかあさんのおなかの中にいためめちゃんも、見ていたような気がする。おかあさんのおへそからのぞいていたと想像して楽しい時間を過ごす。姉妹の宝物のようなひとときを描く絵童話。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
8																
書名	わたし、パリにいったの															
著者等	著 たかどのほうこ															
出版社	のら書店															
定価	1,400															
対象	小学校低学年															
発行	2021年3月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">9</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ベランダに手をふって</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 葉山エミ 絵 植田たてり</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年1月</td> </tr> </table>	9		書名	ベランダに手をふって	著者等	著 葉山エミ 絵 植田たてり	出版社	講談社	定価	1,400	対象	小学校高学年	発行	2021年1月	<p>父親を亡くした輝（ひかる）は母とふたり、団地で暮らしていた。毎朝ベランダから母が手をふってくれて学校へ行くのを見たクラスメートにからかわれるが、同級生の香帆はそれをかばってくれた。香帆もまた父を一年前に亡くしていた。ふたりは次第に仲良くなり、父がいないさみしさを分かち合う。母との運動会での二人三脚競争に思いをかけていた香帆。間に合わなかった香帆の母のかわりに輝の叔父が出場する。やがて香帆は母のふるさとへ転校していく。家族を亡くした小学生ふたりが少しずつ生活を立て直していく物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
9																
書名	ベランダに手をふって															
著者等	著 葉山エミ 絵 植田たてり															
出版社	講談社															
定価	1,400															
対象	小学校高学年															
発行	2021年1月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">10</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>青空モーオー！</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 堀米薫 絵 pon-marsh</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>学研プラス</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校中学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年5月</td> </tr> </table>	10		書名	青空モーオー！	著者等	著 堀米薫 絵 pon-marsh	出版社	学研プラス	定価	1,300	対象	小学校中学年	発行	2021年5月	<p>都会に暮らす陸は4年生の夏休み、岩手の牧場で働きたいことから「牧場にこない？」と誘われる。学校で転校生の秀がいじめられているのをかばうことができなかったことで、心に苦い思いをかかえているときだった。陸は7日間の予定でひとり牧場へ行く。青い空と広い緑の牧場で、牛の世話を手伝う。牛の世界にも強いのも弱いのもいること、それを仲介する牛もいた。子牛のリオが脱水で命の危機に陥るが、やがて回復する。帰ってから、秀に思い切って電話をかける。自然の中で牛の命の力を感じ、勇気を得た都会の少年のひと夏の物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
10																
書名	青空モーオー！															
著者等	著 堀米薫 絵 pon-marsh															
出版社	学研プラス															
定価	1,300															
対象	小学校中学年															
発行	2021年5月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">11</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>あしたの幸福</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 いとうみく 絵 松倉香子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>理論社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年2月</td> </tr> </table>	11		書名	あしたの幸福	著者等	著 いとうみく 絵 松倉香子	出版社	理論社	定価	1,400	対象	中学生～	発行	2021年2月	<p>雨音（あまね）は中学二年、二人で暮らしてきた大好きな父が突然の事故で他界。一人残された天音に「お困りでしたら、わたしと住みますか？」という電話がかかってくる。それは雨音が赤ん坊の時に家を出ていったきり一度も会ったことのない「生みの母」国吉さんだった。まじめだが空気を読めない不思議な国吉さんに、猛烈な違和感を抱きながらも同居を受け入れる雨音。そしてその生活に慣れてきたころ、もう一人同居人が増える。それは父の婚約者帆波さんだった。しかも帆波さんは妊娠していた。こうして奇妙な関係の三人の同居生活が始まる。様々な事件を経て、他人に心が開けなかった雨音が、周囲を受け入れ未来を信じられるようになっていく姿が切なく爽やかな青春小説の佳作。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
11																
書名	あしたの幸福															
著者等	著 いとうみく 絵 松倉香子															
出版社	理論社															
定価	1,400															
対象	中学生～															
発行	2021年2月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">12</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>シリアで猫を救う</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 アラー・アルジャリール 著 ダイアナ・ダーク 訳 大塚敦子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2020年10月</td> </tr> </table>	12		書名	シリアで猫を救う	著者等	著 アラー・アルジャリール 著 ダイアナ・ダーク 訳 大塚敦子	出版社	講談社	定価	1,700	対象	中学生～	発行	2020年10月	<p>「今世紀最大の人道危機」と言われるシリア内戦下のアレッポで、命がけて救助活動をするアラー。元々は電気技師だったが、ふるさとの惨状を看過できず、救急車を自腹で用意し負傷者の救助に飛び回る。死と隣り合わせの町を脱出できない人々のために食料や発電機を手配する彼に、やがて賛同者が集まりチームもできたが、家族とも離れ24時間救助のために待機する生活。神経をすり減らすそんな救助の合間に、彼は捨てられた猫たちを見つけては連れ帰って世話をするようになり、SNSを通じて活動への支援が世界に広がっていく。「アレッポのキャットマン」アラーの目を通して語られるシリア内戦の状況に心揺さぶられる迫真のノンフィクション。彼は現在も誠心誠意ふるさとに尽くし、千匹に上る猫や動物たち保護している。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 936)</p>
12																
書名	シリアで猫を救う															
著者等	著 アラー・アルジャリール 著 ダイアナ・ダーク 訳 大塚敦子															
出版社	講談社															
定価	1,700															
対象	中学生～															
発行	2020年10月															

	<p><b>13</b></p> <p>書名  その扉をたたく音</p> <p>著者等  著 瀬尾まいこ</p> <p>出版社  集英社</p> <p>定価  1,400</p> <p>対象  中学生～</p> <p>発行  2021年2月</p>	<p>宮路は30歳を目前にしてもミュージシャンへの夢を捨てられず、定職も持たず、かといって音楽をするわけでもなく、裕福な実家からの仕送りで無為な日々を過ごしていた。だがある日、慰問にいった老人ホームで天才に出会う。神のようなサックスの演奏をしていたのは、介護士の渡部だった。再び音楽への情熱が頭をもたげ、渡部と組みたくて、説得のために口実を作ってホームに通い詰める宮路は、入居者たちに頼られるようになる。「ぼんくら」と呼ばれ辛辣にからかわれつつも、誰かのために動き、誰かを思うことの幸せを感じ、宮路は自分の生きる意味を見出していく。渡部が「あと少しもう少し」の登場人物なのも、読者には嬉しい再会だ。「古い」の現実と心の交流をやさしいユーモアで包んだ、心地よい読後感の青春小説。</p> <p>(分類番号 913)</p>
	<p><b>14</b></p> <p>書名  ぼく モグラ キツネ 馬</p> <p>著者等  著 チャーリー・マッケンジー 訳 川村元気</p> <p>出版社  飛鳥新社</p> <p>定価  2,000</p> <p>対象  小学生～</p> <p>発行  2021年3月</p>	<p>「ぼく」はモグラと出会う。「せいこうするってどんなことかな」とぼくが尋ねるとモグラは言う。「そりゃあ、だれかを好きになることだよ」「いちばんの時間のむだは?」「じぶんをだれかとかくらすことだね」旅をしながら森で罠にかかったキツネを助け、モグラはまた言う。「なにかがおきたときにどうふるまうか。それこそがオイラたちにあたえられているさいこうのじゅうってもんさ」さらに馬と出会い、旅が続く。馬は言う「やさしさに勝るものはない。すべてのうえに、しずかに存在している」人は何を支えにどう生きるべきか、素朴で美しく力強いイラストと言葉でつづった本書は、イギリスで100万部を超えるベストセラーになった。世界に不安が渦巻く今こそ読みたい本。</p> <p>(分類番号 933)</p>
	<p><b>15</b></p> <p>書名  俳句部、はじめました さくら咲く一度っきりの今を詠む</p> <p>著者等  著 神野紗希</p> <p>出版社  岩波書店</p> <p>定価  1,450</p> <p>対象  中学生～</p> <p>発行  2021年3月</p>	<p>「この中に私がいる!」高校一年の夏休み、俳句甲子園の取材で〈いわしぐも進路相談室の窓〉という俳句に出会い、強く共感した筆者は、俳句の世界に飛び込んで行く。季節感だけでなく、心の動きや人生、世界までもが十七音のなかに、ぎゅっとつまった俳句の魅力。筆者ははじめFAX句会に、そしてリアルな句会、吟行に、やがては俳句甲子園へと活動を拡げていく。本書では、そうした筆者の俳人への歩みとともに、現代の若い作者による親しみやすい俳句が数多く紹介され、その味わいが易しく解説されている。最後には俳句作りのステップが事例とともに紹介され、読み終えたらきっと俳句が作りたくなる魅力的な入門書だ。</p> <p>(分類番号 911)</p>
	<p><b>16</b></p> <p>書名  オール★アメリカン★ボーイズ</p> <p>著者等  著 ジェイソン・レノルズ 著 ブレندان・カイリー 訳 中野裕奈</p> <p>出版社  偕成社</p> <p>定価  1,500</p> <p>対象  高校生以上</p> <p>発行  2020年12月</p>	<p>ラシャドは黒人の高校生。金曜日は父の勧めで、いやいやながら高校の予備役将校課程を受講している。放課後、パーティに行く前に寄ったジェリーの店で、何もしていないのに万引き犯にされ、白人の警官から暴行を受ける。たまたまそれを目撃したのは同じ高校に通う白人の高校生クインで、暴行している警官が友達の兄のポールだと気づき、現場から逃げってしまう。被害者である黒人ラシャドの視点を黒人作家のレイノルズが、目撃者である白人クインの視点を白人作家のカイリーがそれぞれ担当し、アメリカの複雑な社会構造の差別問題を描き出した小説。</p> <p>(分類番号 933)</p>
	<p><b>17</b></p> <p>書名  サード・キッチン</p> <p>著者等  著 白尾悠</p> <p>出版社  河出書房新社</p> <p>定価  1,800</p> <p>対象  高校生以上</p> <p>発行  2020年11月</p>	<p>1998年初め、援助を受けてアメリカの大学に留学していた19歳の尚美は、書いた手紙の内容とは裏腹に、英語力が足りず授業も会話も不自由で、友人もおらず孤独な日々を送っていた。ある日、隣室のアンドレアと思いがけず楽しい時間を過ごす。そこへ訪ねてきたマライカが、コープという学生が共同で運営する食堂に二人を誘ってくれる。訪れたサード・キッチン・コープは、出身地やLGBTQ、経済格差などのマイノリティ学生のためのセーフ・スペースを標榜した場所だった。無知も無関心も差別と知り、自分は何者かを考え、勇気をもって世界に踏み出す青春小説。</p> <p>(分類番号 913)</p>

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">18</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>零から〇へ</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 まはら三桃</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ポプラ社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年1月</td> </tr> </table>	18		書名	零から〇へ	著者等	著 まはら三桃	出版社	ポプラ社	定価	1,600	対象	高校生以上	発行	2021年1月	<p>父の戦死により入学したての大学をやめた松岡聡一は、浜松町の鉄道技術研究所に勤めることになった。そこにはもともと鉄道総局で働いていた人々のほかに、かつて戦闘機の設計や開発をしていた人々が集められ、新しい電車の研究を行っていた。戦争で心に傷を負った技術者たちは、戦いを生み出さない平和で美しく安全な乗り物を作りたいと願っていた。かつて視力の弱さで兵役を免除され引け目を感じていた聡一は、技術者たちの思いに共感し、新しい車両の製造開発に携わっていく。新幹線を作り上げるまでの苦難と希望を描いた、復興の物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
18																
書名	零から〇へ															
著者等	著 まはら三桃															
出版社	ポプラ社															
定価	1,600															
対象	高校生以上															
発行	2021年1月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">19</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>旅する練習</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 乗代雄介</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,550</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年1月</td> </tr> </table>	19		書名	旅する練習	著者等	著 乗代雄介	出版社	講談社	定価	1,550	対象	高校生以上	発行	2021年1月	<p>サッカー少女の亜美が女子サッカー名門校の中学受験に合格した。練習相手であり、叔父で小説家の私に頼みごとがあるという。それは、去年の夏に行った鹿島の合宿所から勝手に借りてきた本を返しに行くことだった。卒業式の後に行こうと計画を立てたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため状況は一変し、学校も試合もすべてなくなって旅の計画も立ち消えとなる。そこで私は、練習しながら、宿題の日記を書きつつ、歩いて鹿島を目指す合宿の旅を提案する。「歩く、書く、蹴る」を繰り返す「練習の旅」の中で見えてきたものとは。第34回三島由紀夫賞受賞作。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
19																
書名	旅する練習															
著者等	著 乗代雄介															
出版社	講談社															
定価	1,550															
対象	高校生以上															
発行	2021年1月															
 <p>食べ継がれてきた世界各地の料理を味わい尽くす。見知らぬ土地の見知らぬ人から笑顔に囲ってもらい、それを食べ、大笑いして、深い友情を結び、心癒され、旅を続け、それでも食べる。——料理家 中村安希</p> <p>もてなし ごちそう</p> <p>中村安希</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">20</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>もてなしとごちそう</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 中村安希</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>大和書房</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2020年10月</td> </tr> </table>	20		書名	もてなしとごちそう	著者等	著 中村安希	出版社	大和書房	定価	1,700	対象	高校生以上	発行	2020年10月	<p>旅の途中で誰かの家に誘われて食事をする。その土地の人々との出会い、食べ継がれてきた料理。ミャンマーの九年越しの食卓、ロヒンギヤの難民キャンプでのインスタントコーヒー、バングラデシュの断食明けのまぜご飯。半ば強制的にふるまわれることもあれば、何も持たない人からの心からの一杯のふるまいもある。しかしどれも、食事を共にする人々のもてなしの心なのである。一緒に食べ、笑い、時におなかを壊し、でもまた食べる。世界各地でのかけがえのない一期一会とその国の食文化を感じながら、もてなしとは何か、おいしいとは何かを考えさせられるエッセイ。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 290)</p>
20																
書名	もてなしとごちそう															
著者等	著 中村安希															
出版社	大和書房															
定価	1,700															
対象	高校生以上															
発行	2020年10月															